

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2013 年度研究会運営委員会 第 1 回アンケート担当者会議議事録

日時： 2013 年 4 月 15 日（月） 13 時 00 分～14 時 00 分
会場： 名古屋学院大学 名古屋キャンパス 白鳥学舎 曙館 607 会議室
出席者： 八鳥（名古屋外国語大学・アンケート担当チーフ）、木村（愛知学泉大学）、
水谷（東海学園大学）、柴野（名古屋商科大学）
記録： 柴野

1. 2013 年度アンケートの実施について

八鳥チーフより、前年度までのアンケート実施の経緯について説明があった。それを踏まえて、2013 年度もアンケートを実施することを確認した。

2. アンケートの形式について

学術情報基盤実態調査（文部科学省）及び図書館調査票（日本図書館協会）が統計的なデータをすでに収集していることから、数値やデータの収集よりも記述式による事例の収集に重点を置くべきとの提案がなされ、出席者間で議論した結果、その提案の方向で進めることを確認した。具体的なアンケート収集方法としては、前年度同様にメールにより Excel シートを提出してもらう方法をとる。

3. テーマ・項目について

アンケートと同年度の研究会のテーマに沿うことを確認した。2013 年度研究会のテーマ「利用者の思考プロセスをどのように可視化するか」から、学習支援・利用者指導の観点でアンケートのテーマ・項目を設定する。項目は選択式と記述式の併用とする。

4. アンケート結果の公表について

上記「2. アンケートの形式について」より、アンケート結果は各校による一種の事例集として公表することを確認した。

公表方法については、前年度までは第 2 回研究会で口頭発表し、さらに同年度末の『館灯』に掲載してきたが、第 2 回研究会での発表は対象が参加者に限られることから割愛し、同年度末の『館灯』に結果を公表してはどうかとの提案がなされた。この件については次の「5. 今後のスケジュール案」と合わせ、第 1 回研究会運営委員会で他の委員の意見を聞くことにした。

5. 今後のスケジュール案

アンケートの実施時期は検討中である。

案 1 前年度のスケジュールを継続する。

案 2 第 2 回研究会後にアンケートを実施する。

案 2 は「3. テーマ・項目について」及び「4. アンケート結果の公表について」の公表方法とも関わる。第 1 回・第 2 回研究会を受けてアンケートを実施する場合、7 月頃今年度のアンケートの予定について各校に連絡する。今年度は第 2 回研究会の開催時期が早いので、第 2 回研究会後にアンケートを実施しても、『館灯』締切までに入稿が間に合う。

この件については先の「4. アンケート結果の公表について」と合わせ、第 1 回研究会運営委員会で他の委員の意見を聞くことにした。

6. その他

上記議題の 4 と 5 については、第 1 回研究会運営委員会で審議を踏まえ、6 月の第 2 回アンケート担当者会議で確定する。

以上